

民俗学の論点 2020

日 時:2020年10月25日(日)13:00～17:00

会 場:オンライン開催(オンライン会議システムZoomを使用)

発表者:

岩本通弥(東京大学)

「『日常』が問うもの」

俵木悟(成城大学)

「古くて新しい『日常』の課題の再発掘」

加藤幸治(武蔵野美術大学)

「『フィールドとしての農村』という課題」

内山大介(福島県立博物館)

「多様化する文化政策と民俗学」

菅豊(東京大学)

「民俗学をもっとひらこう」

土居浩(ものづくり大学)

「言うてるコトと、為してるコトとの間で考える」

三隅貴史(関西学院大学大学院)

「『記述の学』を超えて:現代民俗学の方向性にかんする一考察」

川松あかり(東京大学大学院)

「私たちは〈誰〉に向き合っているのか」

島村恭則(関西学院大学)

「新世代への期待と支援:現代民俗学の発展的再生産のために」

■第50回研究会は、現代民俗学会として初めてオンラインで実施する研究会です。

試行段階であることから、**大変申し訳ありませんが参加資格を「現代民俗学会会員」に限定させていただきます。**

■現代民俗学会会員の方には、研究会開催日が近くなりましたら、会員向けメーリングリストを通じて、参加に必要なZoomのID・パスワード等をご連絡いたします。
メーリングリストに登録をされていない会員の方で、新たにメーリングリストへの登録を希望される方は、
9月末までを目途に本会事務局までメール(mail★gendaiminzoku.com ★をアットマークに変えてください)でご連絡ください。

■現在、会員でない方も、ご入会をいただくことで、第50回研究会にご参加いただくことができます。入会手続きの詳細は本会ウェブサイトをご覧ください。

(ただし、入会手続きには一定のお時間を必要とすることから、第50回研究会にご参加を希望される場合は、10月15日(木)までに入会のご申請をお願いいたします。)